

岩手大学・東京農工大学共同獣医学科の設置構想の概要

設置の背景と必要性

- 国際的水準を達成するための獣医学教育の必然性
- 獣医学教育モデル・コア・カリキュラム(共通到達目標)の先駆的实践, 高度職業人育成のための獣医学教育の高度化
導入教育と実践的教育の必要性
- 社会的役割や関連法規, 獣医倫理等の教育の充実
- インターンシップや施設見学の充実
- 公衆衛生関連施設における実習機会の充実

グローバル化する知的基盤社会の中での, 国際的通用性を備えた質の高い教育の実施

共同獣医学科を設置し, 両大学の有する教育資源の活用とスケールメリットを活かした教育体系の確立

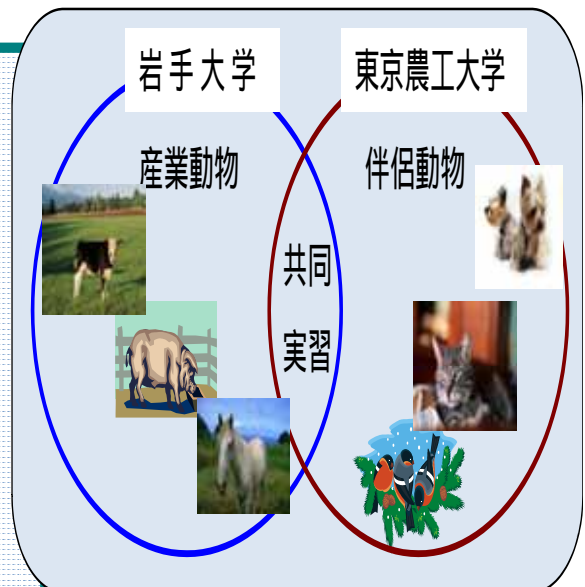
岩手大学・東京農工大学による「共同獣医学科」設置の理念

人類と動物の健康と福祉に貢献する

- 倫理性を兼ね備えた高い行動規範を持つ人材
- 実践力と基礎的な知識・技能を持つ人材
- 生命現象の解明と問題解決能力を持つ人材
- 感染症と畜産物の安全確保に貢献できる, 知識と技能を持つ人材

岩手大学の特色: 畜産基地に位置し, 「動物医学食品安全教育研究センター」を設置し, 動物性食品に関する学際的・横断的拠点形成, 地域密着型・問題解決型の研究推進

東京農工大学の特色: 首都圏に位置し, 伴侶動物の高度先端医療を実施・教育するための「動物医療センター」を設置し, 先進獣医療機器などを駆使した動物医療の実践と研究推進



- 学生所属: 両大学に在籍し, それぞれ入学した大学に本籍を置く
- 授業履修: 両大学で開講されている科目履修が可能
- 講義科目: 対面式を原則としつつ, 遠隔式講義システムも有効に活用
- 実習科目: 学生移動および教員移動による対面式を採用
- 研究指導: コース制を導入し, 演習および卒業研究は, 両大学の教員を選択可能